

ウォーカブル区域に関するアンケート結果の概要

2026年6月

岡山大学 交通まちづくり学研究室

1. まちなかウォーカブル区域の概要

国土交通省が提唱する「WE DO（Walkable, Eye level, Diversity, Open）」の考え方に賛同し、ウォーカブル推進都市に参加している都市のうち、まちなかウォーカブル区域（滞在快適性等向上区域）を設定している区域を調査対象とした。対象区域は2025年11月末時点で158区域であり、これらの区域を有する132自治体にアンケート調査を実施した。

WEDO	・ Walkable : 歩きたくなる ・ Eyelevel : まちに開かれた1階 ・ Diversity : 多様な人、多様な用途・使い方 ・ Open : 開かれた空間が心地よい
[まちなかウォーカブル区域 158区域の特性]	

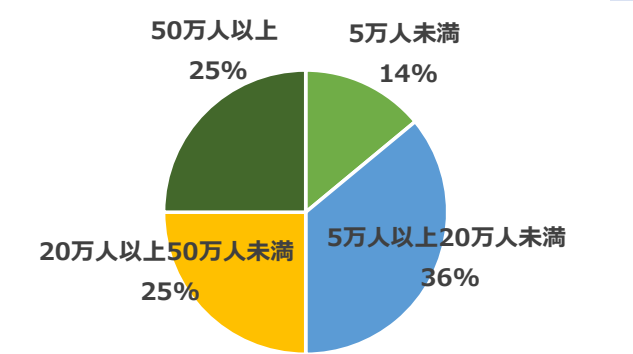


図1. 区域を設定している自治体（市区町村）の総人口

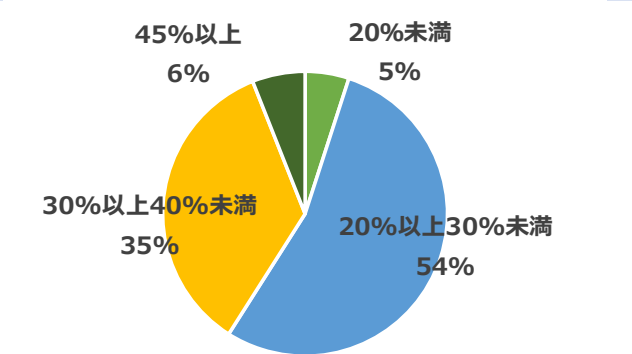


図2. 区域を設定している自治体の高齢化率

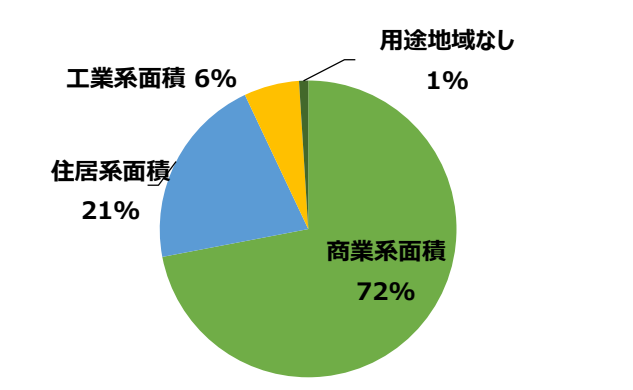


図3. 区域の主たる用途地域

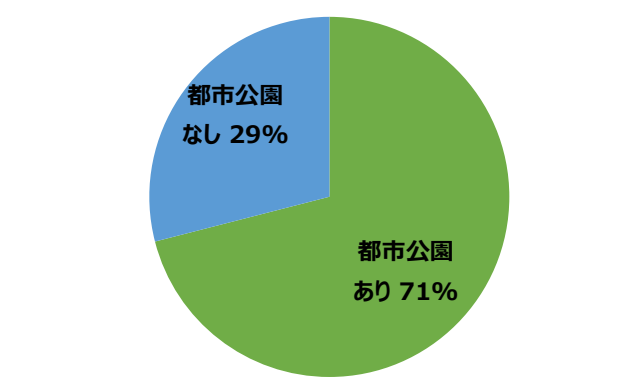


図4. 区域内の都市公園の有無

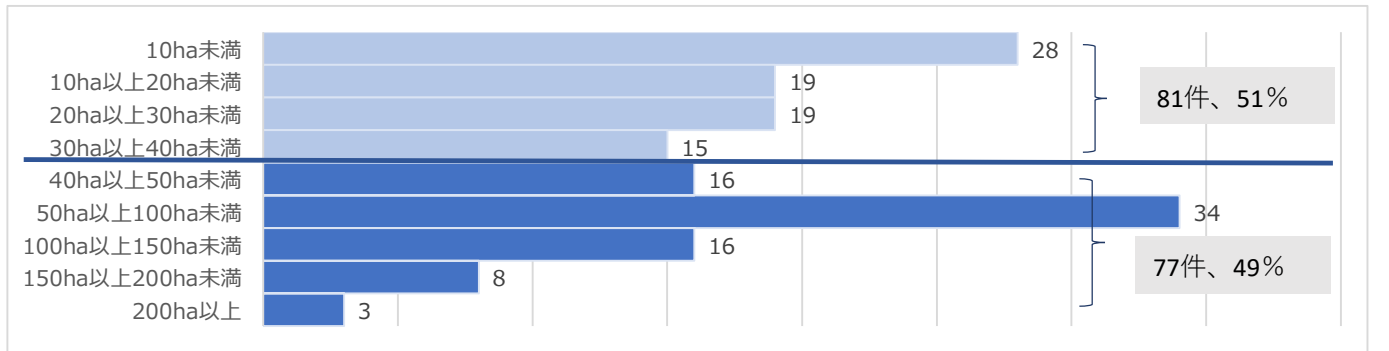


図5. 区域面積

調査では、以下の項目についてアンケート票を作成し、118区域（回収率75%）から回答を得た。詳細は別紙集計結果を参照。

- 【調査項目】
- ① ウォーカブル事業の推進にあたり設定した目標や、特に重視した事項
 - ② 区域内で実施したハード施策・ソフト施策、その実施場所および施策実施時の課題
 - ③ 事業実施による効果の実感
 - ④ ウォーカブル区域内における移動支援モビリティの導入・検討状況

2. ウォーカブル区域設定の目的と効果

設定した目的に対応する効果を実感

- ・目的も効果も、WE DOの考え方に沿ったものが選択されている
- ・目的としては、「快適性」「賑わい・経済」「安全・安心」を重視したとの回答が95%を超える
- ・効果としては、「快適性」「賑わい・経済」に加え、「シビックプライド」を実感する区域が多い

快適性	誰もが心地よく歩行・滞在したくなる
賑わい・経済	活気や交流、経済活動が生まれる
安全・安心	安全で安心して過ごせる
シビックプライド	地域の愛着や誇りを持てる
アクセシビリティ	区域内外の移動がしやすく、区域外との接続性を高める
健康	市民の健康増進につながる

① 上記の空間形成を目的として重視したか

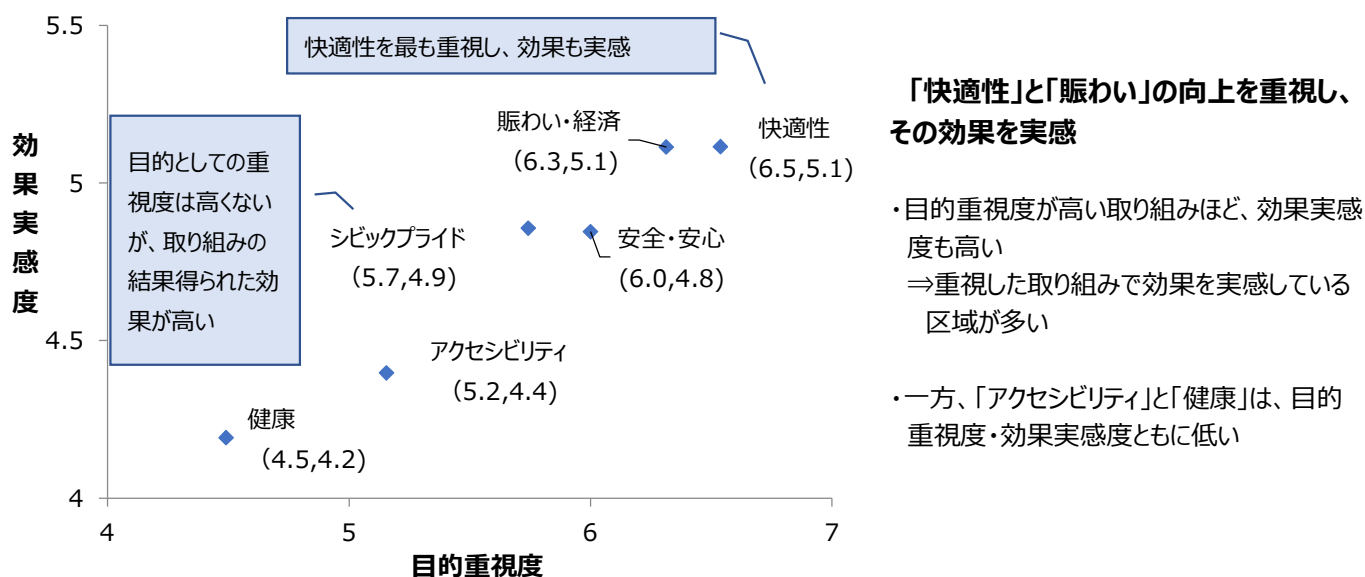
	7段階で回答
目的重視した	とても重視した
	重視した
	どちらかといえば重視した
目的重視しない	どちらともいえない
	どちらかといえば重視しなかった
	重視しなかった
	全く重視しなかった

② 上記を効果として実感したか

	7段階で回答
効果実感あり	とても実感した
	実感した
	どちらかといえば実感した
効果実感なし	どちらともいえない
	どちらかといえば実感しなかった
	実感しなかった
	全く実感しなかった

表1. 目的として重視・効果を実感した区域の件数と割合

回答数 [118]	回答全区域のうち 目的として重視した区域		重視した区域のうち 効果を実感した区域	
	件数	比率 (重視した/全回答)	件数	比率 (効果実感あり/重視した)
快適性	117	99%	68	58%
賑わい・経済	115	97%	70	61%
安全・安心	113	96%	55	49%
シビックプライド	96	81%	56	58%
アクセシビリティ	75	64%	28	37%
健康	50	42%	18	36%



注1) 重視度と実感度は7段階の回答を、7点～1点で得点化し、その平均点を算出してグラフ化

注2) ラベルのカッコ内データ：平均得点（目的重視度，効果実感度）

図6. 得点化した目的重視度と効果実感度

3. ウォーカブル区域で実施した施策と6つの効果実感との関係

歩行空間・滞在空間整備とイベントを中心に施策を展開

- ・50%を超える区域で実施されている施策は、ハード施策の「歩行空間整備」「滞在空間整備」と、ソフト施策の「集客イベント」の3施策であった
- ・この3施策のいずれかを実施している区域は92区域で、回答区域の78%を占めており、多くの区域でウォーカブル推進の中核的な取り組みとなっている
- ・施策は単独ではなく複数を組み合わせて実施される傾向がみられ、平均実施数は約5種類（ハード3、ソフト2）であった
- ・最も多い区域では18種類の施策が実施されており、空間整備と賑わい創出を組み合わせながらウォーカブル推進に取り組んでいる実態が確認された

表2. 施策（ハード/ソフト）の実施状況

			ハード/ソフト別best5	
			回答数 [118]	実施率1位 2～5位
※実施中の施策は対象外とし、完了した施策のみ回答を求めた。このため、16区域は実施施策なしと回答				
	施策略称	施策内容	実施区域数	実施率
ハード 施策	1.オブジェ配置	地域の魅力を伝える看板やモニュメント・オブジェの設置	23	19%
	2.歩行空間整備	歩道の設置・拡幅や路面舗装等の歩行空間整備	66	56%
	3.緑化整備	街路樹や植栽の設置等の緑化整備	42	36%
	4.滞在空間整備	ベンチやテーブルの設置等の滞在空間整備	66	56%
	5.立体歩行空間整備	ペDESTリアンデッキや地下道等の立体的な歩行空間の整備	7	6%
	6.衛生整備	トイレや水道等の衛生施設の整備	29	25%
	7.防犯整備	街路照明や防犯カメラの設置等の防犯整備	33	28%
	8.防災設備	避難経路看板や防災ベンチの設置等の防災整備	7	6%
	9.案内表示	地図案内板等の歩行者向け案内表示の整備	33	28%
	10.ユニバーサルデザイン	段差解消やエレベーターの設置等のユニバーサルデザイン・バリアフリー設備の整備	30	25%
	11.駐輪スペース	駐輪スペースの増設や拡大	14	12%
	12.健康遊具	健康遊具の整備	6	5%
ソフト 施策	1.交通機関との連携	バス利用促進等の公共交通機関と連携したイベントの実施	11	9%
	2.集客イベント	マルシェ、マーケット、ショー等の集客イベントの実施	70	59%
	3.住民交流イベント	清掃活動やワークショップ等の住民交流イベントの実施	44	37%
	4.防災イベント	避難訓練などの防災イベントの実施	9	8%
	5.ウォーキングイベント	まちあるきイベントやウォーキングイベントの実施	26	22%
	6.流入規制	自動車・自転車の流入規制	29	25%
	7.事業者誘致支援	飲食や物販など店舗事業者の誘致や支援	33	28%
	8.公共交通見直し	公共交通の運行条件や路線の見直し・改善	7	6%
	9.ウォーキングコース	ウォーキングコースの設定	4	3%
	10.ネーミング	街路や空間のネーミング	20	17%

表3. 施策（ハード/ソフト）の実施数と組み合わせの分析

施策選択数	区域数
1	9
2	12
3	14
4	9
5	11
6	8
7	9
8	5
9	5
10	5
11以上	15
回答なし	16
合計	118

	選択肢	最大選択数	平均値	標準偏差
ハード施策実施数	12	10	3.0	2.8
ソフト施策実施数	10	8	2.1	2.0
合計実施数	22	18	5.2	4.2

施策 選択数	区域数	選択なし	歩行空間+滞在空間+集客イベント のいずれかを含む	左記3つ のいずれも含まない
0	16	16	-	-
1	9	-	2	7
2	12	-	10	2
3～11	72	-	71	1
12以上	9	-	9	0
合計	118	16	92	0
区域全体（118）に占める割合			（78%）	（0%）

最も重点的に取り組まれた施策は歩行空間・滞在空間整備と集客イベントに集中

- ・ハード施策では上位2施策で85%、ソフト施策では上位1施策で71%を占めた
- ・多くの区域で複数施策を実施しているが、重点施策は特定の施策に集中している

表 4. 最も重点的に取り組んだ施策ランキング（上位3位）

			区域数	選択率		
ハード 施策 [89]	1位	2. 歩道の設置・拡幅や路面舗装等の歩行空間整備	45	51%	}	合計85%
	2位	4. ベンチやテーブルの設置等の滞在空間整備	30	34%		
	- ※	3位以下は5%未満と少数	-	-		
ソフト 施策 [85]	1位	2. マルシェ、マーケット、ショー等の集客イベントの実施	60	71%	}	合計87%
	2位	6. 自動車・自転車の流入規制	7	8%		
	3位	7. 飲食や物販など店舗事業者の誘致や支援	7	8%		

注) [] 内はハード/ソフト施策別回答数：実施していない施策は回答しないため、回答数が全回答数118を下回る

ハード施策は効果実感との関係が強い

- ・実施率が高い施策について、施策の実施有無とウォーカブルの取組全体に対する効果実感との関係を分析した
- ・ハード施策では実施区域と未実施区域の差が大きく、施策を実施した区域の方が効果を実感している割合が高い傾向がみられた
- ・一方、ソフト施策ではその差は比較的小さく、有意な差が確認されない施策もみられた

表 5. 施策の実施有無によるウォーカブルの取組全体への効果実感の比較

<表の見方>

		実施有無別区域数		快適性
1位 歩行空間整備	実施地区	66	90%	
	未実施地区	52	33%	

- ・上段は施策実施区域、下段は未実施区域で、効果を実感した区域の割合を示す
- ・例えば「歩行空間整備」では、実施区域の90%が「快適性」の効果を実感したのに対し、未実施区域では33%にとどまった
- ・効果実感率が高い方を青色、低い方を赤色で示し、濃色ほど、実施区域と未実施区域の差が明確であることを示す

実施率上位5施策		回答数 [118]		施策実施有無別 効果を実感した区域の割合						
		実施有無別区域数		快適性	賑わい・経済	安全・安心	シビックプライド	アクセシビリティ	健康	
ハード 施策	1位 歩行空間整備	実施区域	66	90%	87%	80%	73%	53%	39%	
		未実施区域	52	33%	42%	19%	37%	9%	9%	
	1位 滞在空間整備	実施区域	66	79%	86%	73%	73%	48%	35%	
		未実施区域	52	46%	43%	27%	36%	15%	15%	
	3位 緑化整備	実施区域	42	85%	93%	78%	76%	48%	39%	
		未実施区域	76	54%	53%	40%	47%	27%	19%	
	4位 防犯整備	実施区域	33	91%	85%	88%	85%	70%	48%	
		未実施区域	85	55%	61%	39%	46%	19%	17%	
	4位 案内表示整備	実施区域	33	91%	85%	85%	76%	70%	58%	
		未実施区域	85	55%	61%	41%	50%	19%	13%	
ソフト 施策	1位 集客イベント	実施区域	70	75%	78%	61%	70%	41%	31%	
		未実施区域	48	51%	53%	43%	37%	24%	19%	
	2位 住民交流イベント	実施区域	44	62%	71%	52%	71%	37%	29%	
		未実施区域	74	69%	67%	56%	49%	34%	26%	
	3位 事業者の誘致支援	実施区域	33	83%	87%	67%	73%	37%	30%	
		未実施区域	85	59%	61%	50%	52%	34%	26%	
	4位 流入規制	実施区域	29	64%	79%	64%	68%	41%	21%	
		未実施区域	89	67%	65%	51%	55%	33%	29%	
	5位 ウォーキングイベント	実施区域	26	67%	84%	58%	76%	42%	42%	
		未実施区域	92	66%	64%	54%	53%	33%	23%	

注1) 有意水準とは、“偶然ではない可能性が高い確率”を示す値で、数値が小さいほど可能性が高いことを示す

注2) 効果実感した = 「とても実感した」「実感した」「どちらかといえば実感した」の合計

効果実感割合が高い	1%有意	5%有意
効果実感割合が低い	1%有意	5%有意

4. ウォーカブル区域で実施した施策の「課題」

課題が高い施策も、重点施策は実施率も高い傾向

- ・22施策について課題度を比較したところ、ハード施策では12施策中11施策で「財源確保」の課題度が最も高く、課題内容が共通していた
- ・一方、ソフト施策では「財源確保」と「担い手確保」がともに4施策で最多となり、課題内容は比較的分散していた
- ・施策の実施率と課題度には正の相関がみられ、相関係数は全体で0.287、ハード施策で0.526、ソフト施策で0.229であった
- ・課題度が高い施策ほど実施率も高い傾向がみられた。特に、「歩行空間整備」「滞在空間整備」「集客イベント」は重視度が高い施策（表4参照）だが、実施率が高い傾向を示しており、課題が大きいても重要な施策は優先的に実施されている可能性を示している
- ・ただし、「公共交通の見直し」や「防災イベント」は課題度が極めて高い一方で実施率が低く、実施のハードルが高い施策と考えられる

どんな課題があったか（7種類）

1. 住民や事業者との合意形成
2. 利用者の確保
3. 参加事業者や担い手の確保
4. 整備・実施場所の確保
5. 安全性の担保
6. 財源の確保
7. 評価指標やデータの収集

表6. 施策ごとに見た課題の内容（課題度平均値が高い項目）

課題度平均値順		実施区域数	課題度平均値	1位		2位		3位	
ハード 施策	滞在空間整備	66	4.44	財源確保	5.00	評価データ	4.80	合意形成	4.70
	歩行空間整備	66	4.38	財源確保	5.21	合意形成	5.20	安全性	4.60
	駐輪スペース	14	4.35	財源確保	5.21	合意形成	4.86	担い手	4.40
	ユニバーサルデザイン	30	4.34	財源確保	5.40	合意形成	4.83	安全性	4.70
	立体的な歩行空間整備	7	4.19	財源確保	5.14	合意形成*	5.14	安全性	4.70
	緑化整備	42	4.17	財源確保	4.88	合意形成	4.74	評価データ	4.40
	防犯整備	33	4.14	財源確保	5.09	合意形成	4.39	評価データ	4.36
	健康遊具	6	4.14	財源確保	5.17	合意形成	4.83	評価データ	4.67
	オブジェ配置	23	4.12	合意形成	5.00	財源確保	4.70	担い手	4.20
	案内表示	33	4.11	財源確保	5.09	場所確保	4.50	評価データ	4.42
	衛生整備	29	3.95	財源確保	5.03	合意形成	4.48	評価データ	4.24
	防災設備	7	3.38	財源確保	5.00	合意形成	3.86	評価データ	3.71
ソフト 施策	事業者の誘致支援	33	4.90	担い手	5.70	利用者	5.39	合意形成	4.97
	流入規制	29	4.84	合意形成	5.55	安全性	5.38	評価データ	4.76
	公共交通の見直し	7	4.83	財源確保	5.57	安全性	5.57	合意形成	5.43
	防災イベント	9	4.78	担い手	5.33	合意形成*	5.22	利用者	5.00
	集客イベント	70	4.72	担い手	5.26	合意形成	4.79	安全性	4.77
	ウォーキングイベント	26	4.28	利用者	4.73	担い手	4.46	財源確保	4.54
	住民交流イベント	44	4.27	担い手	5.02	利用者	4.70	合意形成	4.45
	交通機関との連携	11	4.24	財源確保	5.00	利用者	4.55	評価データ	4.45
	ウォーキングコースの設定	4	3.88	財源確保	4.75	利用者	4.75	評価データ**	4.00
	ネーミング	20	3.58	財源確保	3.85	合意形成	3.80	利用者	3.75

注) “*”：2項目は、いずれも1位と同点、“**”：の1項目は評価データと担い手が同点

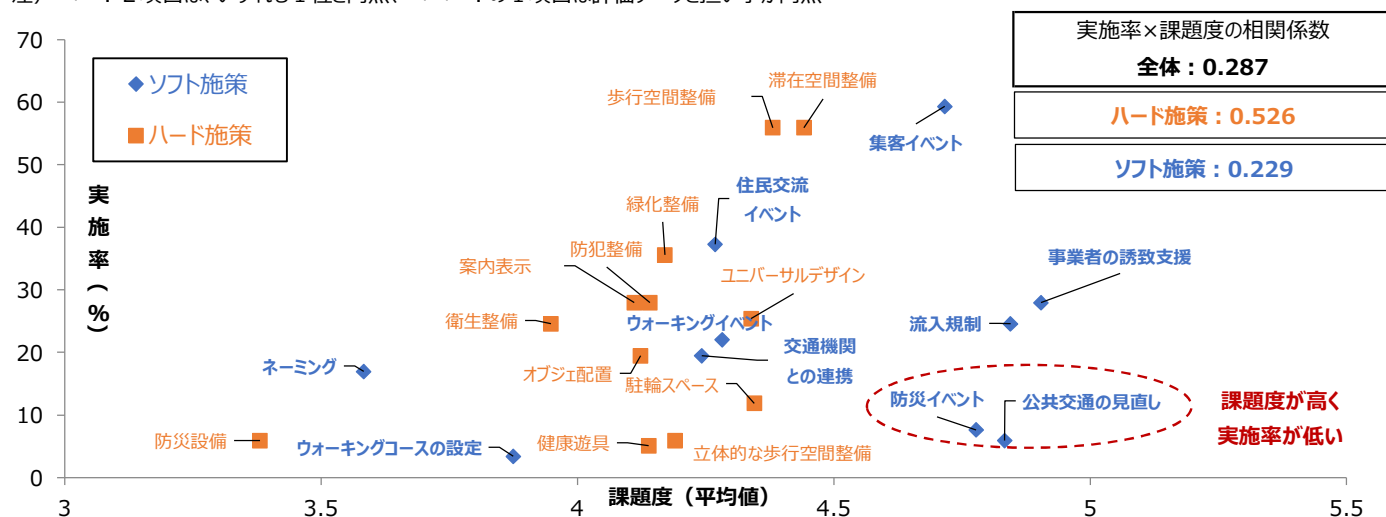


図7. 施策別の実施率と課題度関係

5. ウォーカブル区域の特性と実施した施策との関係

地域特性による施策実施率の違いは限定的

- ・区域面積、高齢化率、人口規模による明確な傾向は確認されなかった
- ・有意差が確認された施策もみられたが、地域特性との関係は限定的であった

表7. 区域特性のを三分位別に見た施策実施率（下位群・上位群の比較）：人口規模では有意な差がみられなかったため割愛

回答数 [118] , 実施数が多い順		実施 区域数	区域面積別 [群内施策実施地区数と群内平均施策実施率 (%)]					
			下位群 (区域面積 : 11ha)		中位群 (39ha)		上位群 (117ha)	
ハード 施策	歩行空間整備	66	21	53.8	23	59.0	22	55.0
	滞在空間整備	66	21	53.8	23	59.0	22	55.0
	緑化整備	42	14	35.9	15	38.5	13	32.5
	防犯整備	33	9	23.1	13	33.3	11	27.5
	案内表示	33	11	28.2	13	33.3	9	22.5
	ユニバーサルデザイン	30	11	28.2	7	17.9	12	30.0
	衛生整備	29	10	25.6	8	20.5	11	27.5
	オブジェ配置	23	5	12.8	9	23.1	9	22.5
	駐輪スペース	14	7	17.9	6	15.4	1	2.5
	立体歩行空間整備	7	0	0.0	2	5.1	5	12.5
	防災設備	7	3	7.7	3	7.7	1	2.5
	健康遊具	6	1	2.6	2	5.1	3	7.5
ソフト 施策	集客イベント	70	19	48.7	26	66.7	25	62.5
	住民交流イベント	44	11	28.2	15	38.5	18	45.0
	事業者誘致支援	33	9	23.1	12	30.8	12	30.0
	流入規制	29	9	23.1	9	23.1	11	27.5
	ウォーキングイベント	26	4	10.3	12	30.8	10	25.0
	ネーミング	20	4	10.3	8	20.5	8	20.0
	交通機関との連携	11	3	7.7	5	12.8	3	7.5
	防災イベント	9	2	5.1	3	7.7	4	10.0
	公共交通見直し	7	3	7.7	2	5.1	2	5.0
	ウォーキングコース	4	1	2.6	1	2.6	2	5.0

回答数 [118] , 実施数が多い順		実施 区域数	高齢化率別 [群内施策実施地区数 , 群内平均施策実施率 (%)]					
			下位群 (高齢化率 : 23.4%)		中位群 (29.2%)		上位群 (36.1%)	
ハード 施策	歩行空間整備	66	23	59.0	25	64.1	18	45.0
	滞在空間整備	66	24	61.5	19	48.7	23	57.5
	緑化整備	42	13	33.3	15	38.5	14	35.0
	防犯整備	33	10	25.6	13	33.3	10	25.0
	案内表示	33	10	25.6	12	30.8	11	27.5
	ユニバーサルデザイン	30	11	28.2	8	20.5	11	27.5
	衛生整備	29	9	23.1	9	23.1	11	27.5
	オブジェ配置	23	12	30.8	6	15.4	5	12.5
	駐輪スペース	14	4	10.3	6	15.4	4	10.0
	立体歩行空間整備	7	3	7.7	3	7.7	1	2.5
	防災設備	7	1	2.6	4	10.3	2	5.0
	健康遊具	6	2	5.1	2	5.1	2	5.0
ソフト 施策	集客イベント	70	23	59.0	24	61.5	23	57.5
	住民交流イベント	44	17	43.6	18	46.2	9	22.5
	事業者誘致支援	33	11	28.2	13	33.3	9	22.5
	流入規制	29	9	23.1	11	28.2	9	22.5
	ウォーキングイベント	26	8	20.5	11	28.2	7	17.5
	ネーミング	20	9	23.1	8	20.5	3	7.5
	交通機関との連携	11	2	5.1	5	12.8	4	10.0
	防災イベント	9	3	7.7	5	12.8	1	2.5
	公共交通見直し	7	4	10.3	2	5.1	1	2.5
	ウォーキングコース	4	1	2.6	1	2.6	2	5.0

注) 地区特性について回答区域数がほぼ等しくなるよう三分位に分類し、下位群と上位群の施策実施率を比較

施策実施率の差の検定にはFisherの正確確率検定を使用。カイ二乗検定の適用が難しい小標本や低頻度のデータにも適用可能なため

指標下位グループと上位グループの比較で値が大きい

5%有意

10%有意

指標下位グループと上位グループの比較で値が小さい

5%有意

10%有意

6. ウォーカブル区域での歩行補助モビリティ（域内移動支援）に関する実施と検討

ウォーカブル区域内で、高齢者や子供連れなど、歩行に制約がある人の域内回遊を支援する取り組みとして、下記8項目の「移送施策支援」の「実施」もしくは「検討状況」を確認した

移動支援施策項目		質問項目
移動支援施策	歩行支援整備	1.段差解消・スロープ・手すり・ベンチ・日よけ等の歩行支援設備を整備
	案内・誘導の設置	2.区域内情報のわかりやすい案内・ナビゲーション（デジタル／サイン）の設置
	休憩施設整備	3.トイレ・授乳室・休憩施設等の利用しやすさを高めた空間整備
	移動支援ボランティア	4.地域ボランティアや民間団体による移動サポート（例：買い物・送迎支援）
	シャトルバス等運行	5.ウォーカブル区域内を走行するシャトルバスやタクシーなどの運行
	シェアモビリティ	6.歩行補助モビリティとして、自転車やシニアカーなどのシェアモビリティの導入
	低速モビリティ	7.歩行補助モビリティとして、区域内を走行するグリーンスローモビリティ等低速小型電動車両の導入
	自動運転モビリティ	8.歩行補助モビリティとして、区域内を走行する車両の自動運転化

低速モビリティや自動運転モビリティは、現在検討中+将来検討したいを合わせると30%程度になる

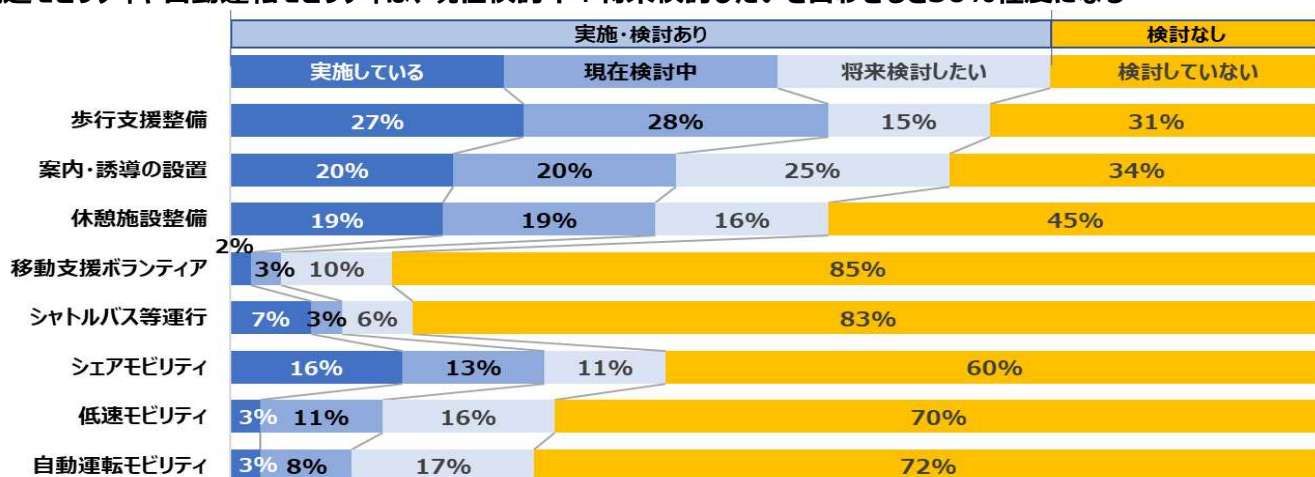


図8. ウォーカブル区域内での移動支援施策の実施・検討状況

新しいモビリティの導入について「実施・検討あり」の区域では、アクセシビリティを重視

・表は、目的の重視度について、上段（施策の実施・検討あり）と下段（施策の検討なし）で比較したもの

・新しいモビリティの導入を「実施・検討あり」の区域では、「アクセシビリティ」に加え「賑わい・経済」の重視度も高い傾向が見られた

表8. 施策の検討と重視する目的の関係（目的重視度）

回答数 [108] 実施・検討有無別 区域数			施策検討有無別 目的重視度（平均値）					
			快適性	賑わい・経済	安全・安心	シビックプライド	アクセシビリティ	健康
歩行支援整備	実施・検討あり	75	6.6	6.3	6.1	5.9	5.2	4.6
	検討なし	33	6.5	6.3	5.9	5.4	4.8	4.2
案内・誘導の設置	実施・検討あり	71	6.6	6.3	6.0	5.9	5.1	4.4
	検討なし	37	6.6	6.3	6.2	5.5	5.1	4.5
休憩施設整備	実施・検討あり	59	6.6	6.4	6.0	5.9	5.2	4.5
	検討なし	49	6.5	6.2	6.0	5.5	5.0	4.4
移動支援ボランティア	実施・検討あり	16	6.6	6.3	6.3	6.1	5.5	4.7
	検討なし	92	6.6	6.3	6.0	5.7	5.0	4.4
シャトルバス等運行	実施・検討あり	18	6.6	6.4	6.4	5.9	5.4	4.8
	検討なし	90	6.6	6.3	6.0	5.7	5.0	4.4
シェアモビリティ	実施・検討あり	43	6.6	6.5	6.1	5.8	5.4	4.5
	検討なし	65	6.6	6.2	6.0	5.7	4.9	4.4
低速モビリティ	実施・検討あり	32	6.7	6.7	6.1	6.2	5.5	4.6
	検討なし	76	6.5	6.2	6.0	5.5	4.9	4.4
自動運転モビリティ	実施・検討あり	30	6.6	6.5	6.2	5.9	5.6	4.9
	検討なし	78	6.5	6.2	6.0	5.6	4.9	4.3

目的重視度平均値高い 1%有意 5%有意 10%有意
目的重視度平均値低い 1%有意 5%有意 10%有意

移動支援施策は交通マネジメント施策との関係が強い

- ・移動支援施策の実施・検討状況と区域内施策の実施率との関係を分析した
- ・表は、ハード/ソフト施策の実施率について、上段（施策の実施・検討あり）と下段（施策の検討なし）で比較したもの
- ・有意差が確認された施策は主にソフト施策に集中しており、移動支援施策は空間整備よりも運用・マネジメント施策との関係が強かった
- ・特に「交通機関との連携」「流入規制」「公共交通の見直し」で差が大きく、交通施策との関連が強い
- ・移動支援施策は単独ではなく、交通マネジメント施策と一体的に導入・検討される傾向がみられた

表9. ウォークアブル区域内での移動支援施策の実施・検討状況と区域内での実施施策（ハード/ソフト）との関係

回答数 [108]		ハード施策実施率											
		オブジェ 配置	歩行 空間 整備	緑化 整備	滞在 空間 整備	立体 歩行区 間整備	衛生 整備	防犯 整備	防災 設備	案内 表示	ユニバー サル デザイン	駐輪 スペース	健康 遊具
歩行支援整備	実施・検討あり	21.3	61.3	40.0	56.0	5.3	30.7	34.7	9.3	32.0	30.7	14.7	4.0
	検討なし	18.2	54.5	27.3	60.6	9.1	15.2	21.2	0.0	21.2	15.2	3.0	9.1
案内・誘導の設置	実施・検討あり	19.7	59.2	35.2	53.5	7.0	21.1	26.8	5.6	29.6	19.7	15.5	2.8
	検討なし	21.6	59.5	37.8	64.9	5.4	35.1	37.8	8.1	27.0	37.8	2.7	10.8
休憩施設整備	実施・検討あり	15.3	59.3	37.3	52.5	8.5	37.3	32.2	8.5	28.8	28.8	13.6	5.1
	検討なし	26.5	59.2	34.7	63.3	4.1	12.2	28.6	4.1	28.6	22.4	8.2	6.1
移動支援ボランティア	実施・検討あり	25.0	62.5	37.5	62.5	0.0	37.5	37.5	12.5	43.8	25.0	12.5	6.2
	検討なし	19.6	58.7	35.9	56.5	7.6	23.9	29.3	5.4	26.1	26.1	10.9	5.4
シャトルバス等運行	実施・検討あり	27.8	50.0	44.4	55.6	11.1	38.9	38.9	5.6	33.3	16.7	16.7	5.6
	検討なし	18.9	61.1	34.4	57.8	5.6	23.3	28.9	6.7	27.8	27.8	10.0	5.6
シェアモビリティ	実施・検討あり	20.9	58.1	37.2	60.5	14.0	25.6	32.6	7.0	30.2	23.3	9.3	9.3
	検討なし	20.0	60.0	35.4	55.4	1.5	26.2	29.2	6.2	27.7	27.7	12.3	3.1
低速モビリティ	実施・検討あり	18.8	53.1	34.4	59.4	6.2	28.1	28.1	9.4	28.1	25.0	9.4	9.4
	検討なし	21.1	61.8	36.8	56.6	6.6	25.0	31.6	5.3	28.9	26.3	11.8	3.9
自動運転モビリティ	実施・検討あり	20.0	53.3	40.0	60.0	13.3	30.0	36.7	10.0	26.7	23.3	6.7	10.0
	検討なし	20.5	61.5	34.6	56.4	3.8	24.4	28.2	5.1	29.5	26.9	12.8	3.8

回答数 [108]		ソフト施策実施率									
		交通 機関と の連携	集客 イベント	住民 交流 イベント	防災 イベント	ウォー キング イベント	流入 規制	事業者 誘致 支援	公共 交通 見直し	ウォー キング コース	ネー ミング
歩行支援整備	実施・検討あり	9.3	61.3	32.0	9.3	21.3	29.3	28.0	8.0	2.7	20.0
	検討なし	9.1	63.6	48.5	6.1	24.2	15.2	30.3	3.0	6.1	15.2
案内・誘導の設置	実施・検討あり	8.5	64.8	35.2	9.9	22.5	28.2	28.2	5.6	2.8	15.5
	検討なし	10.8	56.8	40.5	5.4	21.6	18.9	29.7	8.1	5.4	24.3
休憩施設整備	実施・検討あり	10.2	62.7	39.0	11.9	25.4	32.2	30.5	5.1	3.4	23.7
	検討なし	8.2	61.2	34.7	4.1	18.4	16.3	26.5	8.2	4.1	12.2
移動支援ボランティア	実施・検討あり	31.2	87.5	56.2	18.8	50.0	56.2	25.0	18.8	6.2	18.8
	検討なし	5.4	57.6	33.7	6.5	17.4	19.6	29.3	4.3	3.3	18.5
シャトルバス等運行	実施・検討あり	33.3	83.3	50.0	16.7	38.9	44.4	11.1	16.7	0.0	22.2
	検討なし	4.4	57.8	34.4	6.7	18.9	21.1	32.2	4.4	4.4	17.8
シェアモビリティ	実施・検討あり	18.6	74.4	41.9	14.0	32.6	41.9	30.2	9.3	4.7	25.6
	検討なし	3.1	53.8	33.8	4.6	15.4	13.8	27.7	4.6	3.1	13.8
低速モビリティ	実施・検討あり	25.0	84.4	46.9	18.8	34.4	37.5	28.1	6.2	6.2	25.0
	検討なし	2.6	52.6	32.9	3.9	17.1	19.7	28.9	6.6	2.6	15.8
自動運転モビリティ	実施・検討あり	20.0	83.3	46.7	20.0	36.7	40.0	23.3	6.7	3.3	30.0
	検討なし	5.1	53.8	33.3	3.8	16.7	19.2	30.8	6.4	3.8	14.1

施策実施率平均値高い	1%有意	5%有意	10%有意
施策実施率平均値低い	1%有意	5%有意	10%有意